

■特別レポート①■

地域内事業承継を支援する インクグロウの 「事業引継ぎ.net」



金融機関限定の登録・利用で 確度の高いマッチングを実現

地

地域の中小企業や小規模事業者にとって大きなテーマとなっている「事業承継」「後継者不在」。この問題解決に資するサービスとして注目を集めているのが、いわゆる「M&A マッチングサイト」だ。会社を買いたい経営者と、譲りたい経営者をネット上で募り引き合わせるサービスで、今や複数の事業会社からサイトがリリースされている。サイトを運営する事業会社と業務提携し、取引先に利用を勧めている金融機関も多いだろう。

今回ご紹介するインクグロウ株式会社の「事業引継ぎ.net」も、そうしたM&A マッチングサイトなのだが、他のサイトとは異なる大きな特徴がある。それは金融機関の行職員しか登録・利用することができない「クローズド」なサイトだということだ。

だれでもサイトを見られるようにし、多くの企業に登録して

もらう「オープン」な仕組みではなく、あえて「クローズド」とすることで、多くの金融機関

から注目を集めている「事業引継ぎ.net」。その仕組みや特徴をご紹介します。

「改めて言うまでもなく、地域の中小・零細企業の経営者にとって『事業承継』『後継者不在』は大きな課題となっていて

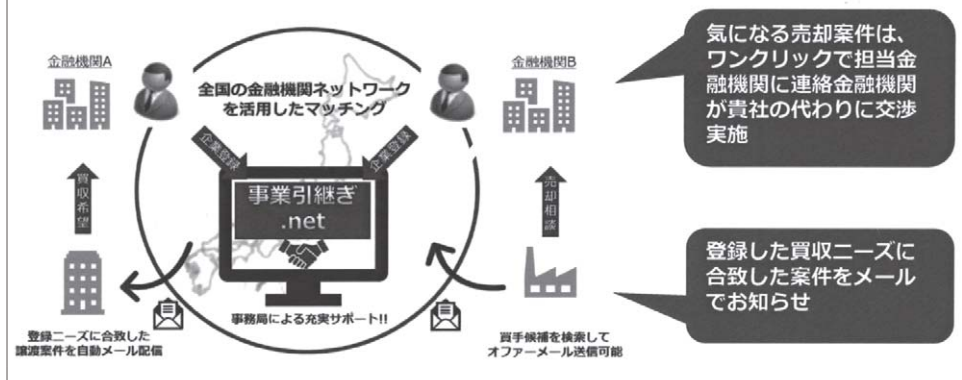
**企業の登録などは
金融機関担当者が代行**

それでは「事業引継ぎ.net」の仕組みを以下にご紹介していきます。

冒頭でも触れたとおり「事業引継ぎ.net」は、金融機関の行職員のみが企業登録・やり取りできる、クローズドなマッチングプラットフォームだ。

例えば「事業を拡大したい」「地域内シェアを高めたい」といった理由で企業買収を考えているX社があったとしよう。このX社が「事業引継ぎ.net」を利用したい場合、A銀行にその旨を告げて申込書に記入する。X社から申込みを受けたA銀行は、企業基本情報や買収検討金額、買収希望業種などを、X社の代わりに「事業引継ぎ.net」に登録することになる。X社が勝手に買収手企業として自社を登録することはできないのである。

事業引継ぎ.net ご利用イメージ



インクグロウ株式会社は、地域金融機関と組んで中小企業経営者のための会員制情報プラットフォームを運営している。皆さんの金融機関にも、取引先の経営者を会員とする『経営者クラブ』と

いった組織があるだろう。金融機関から依頼を受け、そうした経営者クラブの運営管理を行ったり、会員に向けて情報提供や経営支援を手がけたりしているのが、インクグロウなのである。このように地域の中小企業と元々接点があったインクグロウが、2019年6月にリリースしたのが「事業引継ぎ.net」だ。

「改めて言うまでもなく、地域の中小・零細企業の経営者にとって『事業承継』『後継者不在』は大きな課題となっていて、ただ私どもが会員制プラットフォームの運営を通して経営者の声を聞いていますと、『そもそもインターネットが苦手なM&A マッチングサイトを利用できない』『だれでも利用できないサイトだと、登録されているのは首都圏の企業ばかりで（地元）従業員のことを考えると交渉できない』『ウチぐらいの事業規模でM&Aなど、話が大きすぎる』といった意見が少なくありませんでした。そこで当社では、インターネットが苦手な経営者でも利用でき、かつ地域企業同士がマッチングできるようなWEBサイトを作りたいと考え、『クローズド』な設計とする『事業引継ぎ.net』をリリースしたので」（成瀬俊一取締役・ネットワーク推進本部長）